

笑顔とがんばりの町

おのまち議会だより

145号

平成28年
2月26日発行

子ども議会を開く
12名の児童が参加



主な内容

定例会12月会議の結果……………2	議会活動トピックス……………10
町政を問う3人が一般質問……………4	11月～1月の議会活動日誌……………11
子ども議会を開催……………8	町民の声……………12
追跡・あの一般質問を検証……………9	

定例会12月会議

12月3日～9日

平成27年小野町議会定例会12月会議は、12月3日から9日まで7日間の日程で開かれました。

会議では、平成27年度各会計補正予算、条例の制定など14件の町長提出議案と、議員提出議案2件が提出され、議案はすべて全員賛成で原案のとおり可決しました。

また、3名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

議員提案の条例を制定 小野町図書・新聞に親しむ条例

定例会12月会議最終日の12月9日に、遠藤英信議員が「小野町図書・新聞に親しむ条例」制定の議員提出議案を提出し、全員賛成で可決されました。

この条例は、全国的な傾向として、本を読む人が少なく、活字離れや、自分の思いを言葉で伝える力の低下が懸念されていることから、町として、本や新聞を読むことを通じて、言葉を学んだり、表現力を高めるなど、町民一人一人の活力ある社会の実現を目的に制定したものです。

制定に至るまでは、総務文教常任委員会が中心となり、読書推進に関する先進地事例を調査するなど、様々な角度から協議を重ねてきました。

ぜひ、町民のみなさん、本と新聞に親しみましょう！



▲条例の内容を協議

条例改正等

◆小野町個人情報番号の利用に関する条例を制定

マイナンバー制度の導入に伴い、個人番号の利用事務の範囲を限定するなど、個人番号の利用に関し必要な事項を定めるため制定されたものです。

◆小野町地区集会施設設置及び管理に関する条例を制定

小野山神集会所の移転新築に伴い、集会施設の管理等に必要事項を定めるため制定されたものです。



▲昨年の12月に完成した「小野山神ふれあい館」

◆小野町個人情報保護条例の一部を改正

マイナンバー制度導入に伴い、従来よりも更に厳格な個人情報保護措置を講じる必要があるため、条例の一部を改正し特定個人情報の取り扱いについて必要な事項を定めたものです。

◆小野町税条例等の一部を改正

国税の猶予制度改正に合わせて、納税者の負担軽減と的確な納税を確保するため、徴収の猶予と換価の猶予について改正をしたものです。

◆このほかに、平成26年度小野町水道事業剰余金の処分について議決しました。

人事案件

◆固定資産評価審査委員会の委員に先崎富美子氏、教育委員会の委員に先崎慎也氏を選任

現委員の任期満了に伴い、小野町固定資産評価審査委員会の委員に先崎富美子氏を、小野町教育委員会の委員に先崎慎也氏をそれぞれ選任することに全員賛成で同意しました。



せんざきふみこ
▲先崎富美子氏



せんざきしんや
▲先崎慎也氏

※1万円未満切り捨て

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	1195万円	53億455万円
特別会計	国民健康保険	15億9939万円
	除染対策事業	4131万円
	介護保険	11億9330万円
水道事業会計	浄化槽整備推進事業	7463万円
	収益的収入	1億6470万円
	収益的支出	1億6637万円
	資本的収入	9089万円
	資本的支出	1億5455万円

平成27年度各会計補正予算

平成27年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査し、全て原案のとおり可決しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

2月第1回会議結果

選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙
2月1日開催の「2月第1回会議」において、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の議会選挙が行われ、次の方が選任されました。

委員	補充員
村上 信一氏	新田 正仁氏
中野 健治氏	岩塚 幸貴氏
時田 美子氏	矢内 清仁氏
宗方 國男氏	西牧 福治氏

議員提出議案

陳情採択に伴い、「公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書」を内閣総理大臣等に提出するための議員提出議案を提出し、全員賛成で可決されました。

【議員提出議案提出者:龍田 良作 議員】
【意見書提出先:内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣】

なお、陳情の審査は総務文教常任委員会に付託して行いました。

【陳情件名】公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を
求める陳情書

【陳情者】福島県教職員組合
田村支部長 三浦 隆郎

町政を問う

◆会田 明生 議員 5ページ

- ・パークゴルフ場整備の検討状況について
- ・放課後デイサービスについて◆
- ・平成28年度の予算の編成方針について
- ・特色のあるまちづくりについて◆

◆竹川 里志 議員 6ページ

- ・義務教育について◆
- ・ICT教育の導入の考えについて◆
- ・学校給食の現況について

◆籠田 良作 議員 7ページ

- ・河川改修に伴う固定資産税の減免または軽減について◆
- ・ふるさと納税寄附金の明確性について◆
- ・道の駅検討委員会設置後の運営について

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。掲載されていない質問項目の内容等は、3月下旬に小野町のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。



問

特色のあるまちづくりについて

答

特色を生かして人口減少対策を進める



会田 明生 議員

再質問 その施設は町内に必要であるのか、または近隣市町の施設を利用していただく考えであるのか伺います。

町長 放課後デイサービス利用者の保護者やそのサービスを行う事業者から意見を聞きながら、必要に応じて新たな支援策を図っていきたく考えています。

再質問 町として町内に必要と思いますか。

町長 町には必要であると考えています。

問 小野町への人の定着、流入の増加を図る上では、町の特徴を生かした特色のある地域づくりが必要であると思えます。これら特色のある地域、まちづくりを推進するには何が必要と考えるのか伺います。

町長 町の特色として、豊かな自然、道路の利便性や災害に強いというようなことが挙げられます。

再質問 小野町の課題や特色を生かしたまちづくりの進め方などの情報を積極的に公開して、町民の方々と共有する仕組みが必要であると思えます。

再質問

町長 町の特色を見出すためには、町民の方々からの知恵、英知を、どれだけ集められるのかということが必ず

町長 私は共有が図られていると思っております。これからの情報共有しながら、町民主役のまちづくりの町政運営に努めていきたいと思えます。



特色のあるまちづくりが求められる

問

放課後デイサービスについて

答

子育て支援の一つとして
大変重要なサービス

町長 放課後デイサービスは、子育て支援の一つとして大変重要なサービスであると考えています。町としては、支援を必要とする人が適切なサービスを受けられるよう、サービス事業者と連携を図っていきたく考えます。

問 放課後デイサービスは、障がいのある子供たちが、放課後や夏休み等の長期の休み中に安心して楽しく過ごし、一人一人の可能性を伸ばしていく機会であり、さらには子育て世帯への支援の一つとして大変重要なサービスです。放課後デイサービスに関する今後の町の取り組み方針について伺います。



問 河川改修に伴う固定資産税の減免または軽減について

答 固定資産税の減免等の対象とならない



籠田 良作 議員

問 右支夏井川河川改修事業に伴い、町内に移転新築を希望する方、または既に家屋を新築された方、さらには土地を取得された方に対し、町独自の固定資産税の減免または軽減措置を考へてはどうかと思います。税の減免や軽減は条例により制約があることは承知ですが、移転を余儀なくされる方は精神的苦痛を伴っています。それらを少しでも緩和し、町内に居住していただくことは人口減少対策にもつながると思えます。町長の考えを伺います。



町長 固定資産税の減免制度は国の基準に基づき小野町税条例で定められています。公共事業に伴う土地、家屋の取得に関しては、固定資産税の減免等の対象にはなりません。私も今回の河川改修事業では、地権者の方々のご苦労は大変なものと、心を痛めています。町では、移転が必要となる方々に対し、土地のあっせんや住宅の空き地情報の提供など、丁寧な対応に努めていきます。

問 義務教育について

答 義務教育は自律的に生きる基礎を培う



竹川 里志 議員

問 人は幼児教育、義務教育、高等学校、大学など様々な教育を受け、社会へ出て生活していくわけですが、基礎的な知識を学ぶ義務教育とはどんな役割があり、戦後から現在までの子供に対する教育一般の義務教育について、教育長に伺います。



教育長 義務教育は、子供たち一人一人が社会において自律的に生きる基礎を培う、重要な役割であります。質の高い教育を子供たちに提供していくことは、我々に課せられた使命であり、次世代への責任であると認識しています。今後とも子供たちが心身ともに健やかに成長できるように、教育現場と連携強化を図りながら、教育の発展に取り組みしていきます。

再質問 経済格差で子どもにも影響しているようです。教育に格差があつてはいけません。特に学力が中低位の子供たちに合った仕組みが必要で、教育は、この子の成長には何が重要かということから出発しないといけません。教育格差の問題をどう考えていくのか、教育長に伺います。

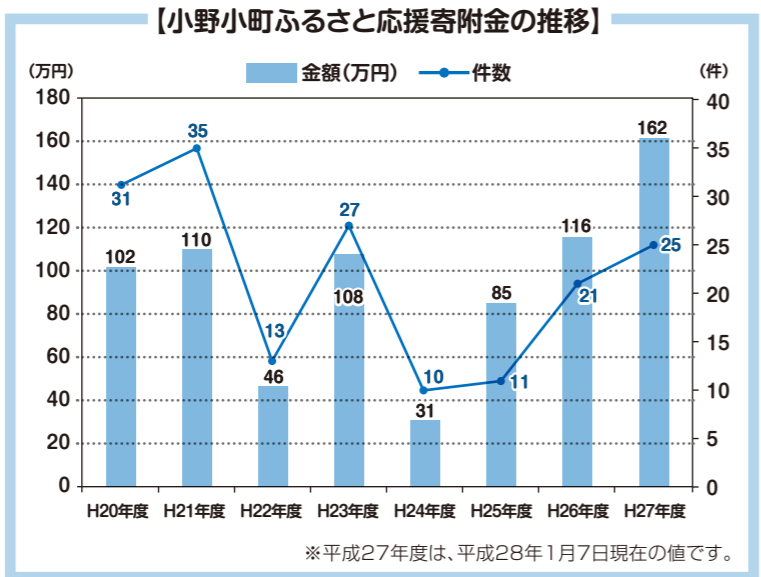
教育長 教育委員会では、今ある学習環境を十分に活用し、個々に応じた指導の充実に努めているところです。教育格差が生じないよう子供たちに対する政策を引き続き進めていく考えです。

問 小野町では、ふるさと納税の使い道は3つの分野に決められていますが、納税者がどのような考えで納税するのか把握することは大切ですか。

町長 特別会計による方法も明確性確保の一つと考えられますが、あらかじめ寄附金収入を歳入として見込むことが難しいなど整理すべき課題も多いため、使途の公表方法を工夫するなどして、ふるさと納税の明確性を図っていきたいと考えます。



広く周知するため 昨年パンフレットを作成



問 ふるさと納税寄附金の明確性について

答 用途の公表方法を工夫する



ICT機器(電子黒板)を活用した授業の様子

問 ICT教育の導入の考えについて

答 ICT機器を活用した授業を実施

問 第四次小野町振興計画の基本計画には、「ICT教育の充実を図り情報活用能力育成を進めていく」とあります。ICT機器の活用は医療や教育をはじめとして地域の活性化につながり、子供の将来の成績や収入にも影響することがわかってきます。小野町のICT教育の取組について教育長に伺います。

教育長 全小・中学校にデジタルテレビ、電子黒板、実物投影機を設置したほか、インターネットを接続可能なコンピュータを整備し、これらの機器を活用した授業を行っています。また、教職員も定期的にICT機器活用に関する研修を受け、指導力の向上に努めています。

再質問 教育に支出することは将来の子どもに対しての投資であり、子どもの収入に大きく影響することがわかってきました。ICT教育は専門的な知識が必要ですが、授業技術や指導者の点で、生徒の理解や学習の効果に大きく作用しますが、専門的な指導をどのような形で授業に取り組んでいるのか、教育長に伺います。

教育長 先ほど答弁したとおり、各学校において専門の方を招いて研修会を行い、子供たちにその技術を伝える

追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

小学生・中学生の町政への参加機会について

質問

将来の地域の担い手である小学生・中学生が町に意見、提案や問題提起のできる場を設けてはどうか。
(平成26年定例会12月会議)

答弁

子どもたちの負担も考慮しながら、多くの児童・生徒からできる限り自然な形で意見や提案をいただける機会を設けていきたい。

その後

町内の小中学生に町政を身近に感じ、町に意見や提案をいただくための場のひとつとして、昨年12月に議会及び教育委員会と連携し町内各小学校6年生の代表12名が参加した子ども議会を開催しました。

子ども議員の皆さんからは、日頃の学校生活や日常生活での疑問や要望などをもとにした質問や、自分たちの将来や町の課題を考えた提言をいただきました。

町では、今後も多くの小中学生の皆さんから直接町政に対する意見や提案をいただけるよう、様々な機会を設けていきます。

町道等の冬期間の日陰になる立木等の伐採について

質問

冬の期間日陰になっている路面凍結等の対策として立木の伐採など、日陰対策について今後の町対応を伺いたい。
(平成27年定例会3月会議)

答弁

交通安全協会など関係者、関係機関の協力を得ながら、他自治体の事例も参考に、道路の日陰対策を検討していきたい。

その後

県道及び町道の日陰における路面凍結箇所は、これまでに関係機関と協議を行い、間伐事業と併せて立木伐採を行い、日陰対策を実施した箇所がありますが、立木所有者が道路管理者以外の場合が多く、課題が多い状況です。

今後も冬期間の日陰箇所については、融雪剤の散布・除雪の徹底を図りながら、行政区、交通安全協会、立木所有者などの関係者、関係機関の協力をいただき、条件が整った箇所は、立木伐採等の日陰対策を講じていきます。

小野町60周年記念

小野町子ども議会を開催

12月16日に小野町60周年を記念して「小野町子ども議会」を役場議場で初めて開催しました。

子ども議会は、次世代を担う子どもたちに、町政や町議会への理解と関心を深めてもらうことを目的に開催され、町内4小学校6年生の代表12名が参加しました。

当日は緊張感のある雰囲気の中、進行役を務めた橋本幸明 議長(小野新町小)のもと11名の子ども議員が、子どもの目線で小野町の課題やこれからのまちづくりについて、町長に質問しました。

会場には、保護者、学校関係者、町議会議員など多くの方が傍聴され、子ども議員からの身近な質問・意見に耳を傾けました。

くんじ れん
郡司 蓮 議員(飯豊小)



小野町に記録が公認されるような全天候型の陸上競技場を作してほしい。

いしい まな
石井 真奈 議員(飯豊小)



町内放送から流れる曲は、町民が明るく元気になる曲にしてほしい。

えんどう まりん
遠藤 茉凜 議員(浮金小)



少子化対策のひとつとして「ナインのお見合い大作戦(TV番組)」に応募してみませんか。

おおわだ もえ
大和田 萌 議員(浮金小)



小野町の観光や特産品をPRするパンフレットなどを配付し、もっと町の魅力を発信してはどうですか。

むらかみ かほ
村上 香穂 議員(夏井一小)



町民が安心して暮らすことができるよう小野町に夜間・休日も診察する病院を設置してほしい。

とみざわ まゆ
富澤 麻愛 議員(夏井一小)



町の中心部から離れた場所では街路灯が少なく危険です。安全に暮らせるよう街路灯を増やしてほしい。

むなかた よしのり
宗像 喜紀 議員(小野新町小)



小野町では、雇用を増やすためにどのような取り組みをしているのか教えてほしい。

くんじ みさき
郡司 未彩希 議員(小野新町小)



小野町を訪れる年間の観光客数と小野町を多くの方に知ってもらうための取り組みを教えてください。

さとう かい
佐藤 魁 議員(小野新町小)



事故が起きないように、文化の館裏の踏切に遮断機を設置してほしい。

やぶき まりん
矢吹 真鈴 議員(小野新町小)



自転車の人も安心して道路を横断できるよう、歩道橋にスロープを設置してほしい。

おりうち ていな
折内 禎奈 議員(小野新町小)



小野町の特産品のアピールはどのように行っているのか教えてほしい。

はしもと こうめい
橋本 幸明 議長(小野新町小)



議長として議会の進行役を務め、議事をスムーズに進めました。

議会活動日誌

11月

- 1日 小野町農作物品評会表彰式
- 3日 三春町合併60周年記念式典(三春町)
- 10日 月例全員協議会
総務文教常任委員会
第6回安全・安心でおいしい地下水サミット
- 11日 第59回町村議会議長全国大会(東京都)
- 12日 第6回田村地方交通安全大会
議会広報編集委員会
- 13日 第46回全国過疎地域自立促進連盟定期総会(東京都)
- 15日 第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(白河市～福島市)
- 17日 小野町議会11月第1回会議
新潟県阿賀町議会運営委員会行政調査視察受入れ
平成27年度第23回サマーキャンプ中学生の翼報告会
- 18日～20日 定期監査
- 20日 例月出納検査
平田村合併60周年記念式典(平田村)
- 21日 リカちゃん通りイルミネーション点灯式
- 22日 小野町合併60周年記念式典
- 24日 公共施設建設等調査検討特別委員会行政調査(宮城県)
- 25日 全員協議会
- 28日 第48回田村地方婦人の集い
- 30日 議会運営委員会
全員協議会
小野町議会議員研修会



▲11/15沿道から応援(ふくしま駅伝)



▲11/17新潟県阿賀町議会運営委員会と意見交換

12月

- 3日～9日 小野町議会定例会12月会議
- 6日 小野町老人クラブ連合会芸能発表会
- 9日 月例全員協議会
- 10日 平成27年産葉たばこ
買い入れ状況視察(須賀川市)
- 16日 小野町60周年記念
「小野町子ども議会」
- 25日 例月出納検査
公立小野町地方総合病院企業団議会

1月

- 4日 平成28年小野町消防出初式
新年交礼会
- 10日 平成28年小野町成人式
- 12日 小野町パークゴルフ協会設立総会
月例全員協議会
- 25日 例月出納検査

議会活動トピックス

11月24日 公共施設建設等調査検討 特別委員会行政調査

公共施設の建設等について調査検討を行うため、宮城県大河原町を訪問し、平成26年4月にオープンした「世代交流いきいきプラザ」を視察しました。

この施設は、放課後児童クラブや子育てセンターなどの福祉機能を有するほか、防災拠点機能も備えた複合施設です。

施設完成に至るまでのプロセスや施設の活用状況等を調査しました。



11月30日 小野町議会議員研修会を開催

議員の資質向上と円滑な議会運営を目指すため、小野町議会主催の議員研修会を開催しました。

講師には、埼玉県の前戸田市議会議員の斎藤直子先生をお招きし、「議会の善政競争が日本を変える!」をテーマに、先生の豊富な経験をもとにした講演が行われました。



12月10日 小野町産の葉たばこ 買い入れ状況視察

須賀川市にある「日本たばこ産業(株)東日本原料本部」を訪問し、平成27年産の葉たばこ買い入れ状況を視察しました。



町民の声

町民の方から議会に思うことをお聞きしましたので、ご紹介します。



上野 豊子さん

今年1月に町議会議員選挙が行われ、12名の

方々が選ばれました。

選挙について思うことがありました。立候補された方々がどんな公約で選挙に望むのかと期待しており、少し残念に思ったのが皆さんの公約が聞けなかったことです。

私は昨年定例会12月会議を友人と一緒に傍聴しました。自分にとって町政を知るうえでも大変良い機会になりました。議会傍聴に行けるのは限られた方々だと思います。

選挙の時こそはっきりとした自分の公約を町民の方々に聞いて頂ける良い機会だったのでないでしょうか。

定例会12月会議で3名の方々の一般質問を傍聴しましたが、それぞれの議員は大変勉強し、調査をされていると感じました。

今回も素晴らしい議員の方々が選ばれました。私達町民の代表として、明るい町づくりのため、一層の活躍をご期待いたします。



石塚 光子さん

リニューアルされた「おのまち議会だより」は、とても見

やすくなりました。

議会だよりを通じて一般質問、行政、議員の方々の一端をうかがうことができます。

人口の減少には歯止めがかからず、現状を改善していかなければならない策があればと思います。

町全体を自分達の地域と考え、様々な面から見て、安心して働くことができる環境、子供の育成に適した環境づくりを第一に考えて頂きたいと願います。

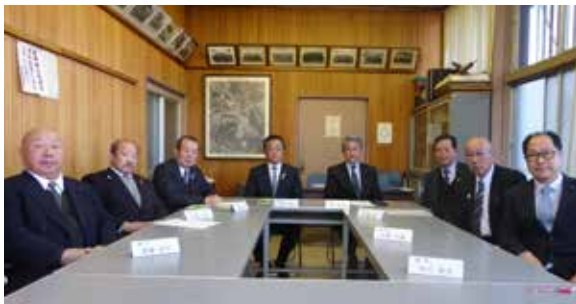
議会報告会も子育て世代が少しでも多く足を運べる休日や日中に開催することも検討していただけたら、自分達の声も町政に伝わって、方向性が在り方についても意見交換ができるのではないのでしょうか。そして町民も行政により多くの関心を持ち、町の発展にもつながると思います。

今後、住みやすく、安心して生活できる町づくりのために地域活力の向上を目指してほしいです。

定例会3月会議は3月3日(木)に開会の予定です。

一般質問は3月4日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)



議会広報編集委員会です。これからも、町民の皆様にご覧に議会情報を正確に分かりやすくお伝えしていきます。

【左から】渡邊直忠 委員 宗像芳男 委員 遠藤英信 委員 吉田康市 副委員長 村上昭正 委員長 佐藤登 委員 水野正廣 委員 竹川里志 委員

・あじがわ・

議会改選に伴い、新たな議会広報編集委員会による議会だよりの紙面づくりがスタートしました。

町民の皆様にとって身近に感じ、関心を持って読んでいただける紙面づくりに努め、また、議会に対するご意見等も数多く掲載できるよう心がけてまいります。

今後とも、より良い議会だよりを目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議会広報編集委員会委員長

村上昭正

おのまち 議会だより

平成28年 2月26日発行

145号

発行者/福島県小野町議会 編集/議会広報編集委員会

〒9603-3492 福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻 0247-72-2111



この印刷物は、FSC®の基準に従って 認証された適切に管理された森からの 木材を含んだ用紙で印刷されています。